

キラリタイム指導計画案 (ロング ・ ショート) 担当者 (横岡)

日時	平成25年1月29日(火) 13:20~13:55 (35分間)	
題材名	『鬼は外 福は内』の絵手紙	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の心と向き合い、「節分に向けての思い」を心をこめて絵手紙にかく。 ・ 絵とことばで、「節分に向けての思い」を自分らしくていねいに表現する。 	
題材について	<p>2月に行う節分は、豆をまくことで邪気を追い払い、一年の無病息災を願う行事である。子どもたちは、新年の目標を立てたが上手く取り組めていない部分もある。今回の絵手紙では、節分の意味を知らせ、自分の心を見つめるきっかけにしたいと考え、「鬼は外 福は内」のテーマを設定した。節分を前に子どもたちは自分自身を振り返り、自分の心の弱いところや直したいところを退治したいと思うと考えられる。例えば、よく喧嘩をしてしまう子どもは「喧嘩鬼」、朝早く起きられない子どもは「朝寝坊鬼」等…。また、自分の心のよいところやよくしていきたいところをイメージした子どもは、目標に向けて頑張っている自分や成長した自分の姿等を絵に表すことができると考えられる。旧正月を迎え、よい一年にしようという前向きな思いを表す絵手紙を、今回は題材として選んでみた。「鬼を退治して福を呼び込むぞ」という節分に向けての気持ちを絵手紙に表す活動を通して、自分の今後の成長を見つめ、普段の生活につなげていきたい。自分の心と対話する中で、一人一人が今心に抱いている気持ちが絵手紙にいろんな表現として表れてくることが期待される。</p>	
準備物	担当で用意するもの ○絵手紙用の紙 児童が用意するもの ○筆ペン(ピグマペン、名前ペン) ○絵の具、パステック、色鉛筆	
学習の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1 放送の指示で、心の準備をする。 ※事前に必要な用具をそろえておく。(絵の具を使う人は、絵の具道具の準備をしておく) 2 放送を聴き、題材とめあてを確認する。 ☆ 題材名 『鬼は外 福は内』の絵手紙 ☆ めあて (※学年に合わせて、めあてをわかりやすく示す) ① 「節分に向けての思い」を、心をこめて絵手紙にかこう。 ② 絵とことばで「節分に向けての思い」を自分らしくていねいに表そう。 3 絵手紙を書く。 【かきかた】 ① 絵からかいても、ことばから書いてもどちらでもよい。(筆ペン・ピグマペン) ② 自分が使いたい用具を選んで、色をつける。(時間を考えて選ばせる) ③ 最後に名前を書く。(名前も作品の一つだと考える) 4 終了時間5分前には、片づけを始める。 	
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当が放送で導入をしているとき、①題材名 ②めあて を板書する。 ・ 持ち物を事前に知らせ、用意しておく。 	<div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div> ちよき

板書例	<p style="text-align: center;">「おには外 福は内」の絵手紙</p> <p>めあて</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「節分に向けての思い」を心をこめて絵手紙をかこう。 ② 絵とことばで「節分に向けての思い」を自分らしくていねいに表そう。 	心をこめて 自分らしくていねいに 表現しよう
-----	--	------------------------------